

令和6年度北陸農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門					
No.	都道府県	市町村	地区名		取組の概要
1	新潟県	十日町市	株式会社 HOME HOME NIIGATA	 <p>関東方面の学校による 田植え体験</p>	<p>平成30年度より棚田や地域の田んぼを使った田んぼ体験を団体向けに販売開始。地域住民の理解や協力者を得ながら開発を進め、令和2年度より棚田のある里山を歩くトレッキングツアーを販売。令和5年度より古民家を宿泊施設に改修し始めた。令和元年よりツアーガイドを養成する活動を展開し、地域住民や棚田耕作者の収入増加につなげることを目指しており、ツアー収益の一部を集落へ寄付し里山の維持に貢献。</p>
2	富山県	魚津市	株式会社 NOROSHI FARM	 <p>キッチンカーで米粉おやき販売 能登半島地震では炊き出し参加</p>	<p>北アルプスの良質な水源と棚田の寒暖差を活かし、環境保全型農業で高品質なお米を栽培。販売は、自社HPやECサイト、ふるさと納税返礼品として全国発送。耕作放棄地2.5haを開墾し大麦栽培も取り組み、農地景観を大幅に改善。「種をまくところからおにぎりを届けるところまで」をテーマにおにぎり専門店を開店。就農以来、様々なイベントを開催・受け入れて地域活性化や関係人口の創出に取り組み、直近では、1泊2日の滞在型マーケットを開催。</p>
3	石川県	羽咋市	道の駅のと千里浜 (羽咋まちづくり株式会社)	 <p>道の駅のと千里浜7周年祭 チラシ</p>	<p>車で走行できる千里浜なぎさドライブウェイの側に2017年にオープンした道の駅のと千里浜は、地域観光の拠点として、また地域観光のゲートウェイとしての役割がある。特に今後は能登半島地震の震災復興の一助とする為に今まで以上にお客様に来ていただく必要があると考え、本年の周年祭はブラッシュアップした内容でオリジナル商品開発(自然栽培羽咋米を原料としたクラフトビール、グルテンフリーのカステラ等)やオリジナル企画として地元密着ステージイベントを計画し開催。</p>
コミュニティ・地産地消部門					
No.	都道府県	市町村	地区名		取組の概要
4	福井県	美浜町	合同会社 菅浜わくわく協働体	 <p>「は一ぶ&れもん園」草取り に参加する区民</p>	<p>休耕田を開墾し「は一ぶ&れもん園」を整備、ハーブ30種、レモン100本を植樹し、ハーブティー、ジャム等への加工、レモンジュース等のワークショップを開催。周辺の休耕田に季節の花を植え景観向上に取り組んでいる。 また、旧保育所を改修した「菅浜わくわくかん」ではカフェ、一時預かり保育を行い、地元社員を10名程度雇用して地域活性化にも貢献している。居場所づくり、絆づくりを目的に、「だれでもウエルカム食堂」を令和元年から現在まで43回開催。</p>